

武蔵野美術大学大学院

造形研究科 博士後期課程

2022 年度学生募集要項

入学試験に関する問い合わせ、出願資料提出先

武蔵野美術大学入学センター

〒187-8505 東京都小平市小川町 1-736

電話:042-342-6995(日曜・祝日を除く 9:00~16:30)

Email:nyushi@musabi.ac.jp

新型コロナウイルス感染症対応等、試験期日等が変更となる場合があります。

最新の学生募集要項を随時確認してください。

<https://www.musabi.ac.jp/admission/graduate/phd/>

1. アドミッションポリシー

造形研究科 博士後期課程 造形芸術専攻

武蔵野美術大学は幅広い教養を備え人格的にも優れた美術家やデザイナーなど、造形芸術の専門家を養成してきました。本学では次のような学生を求めています。

1. 造形芸術に関する高度な創造、表現の技術と理論を研究しようとする人
2. 高度な能力および豊かな学識に基づいて、自立して創作、研究活動を行い、さらに研究指導者として文化創造の発展に寄与し、国際社会で活躍しようとする人

2. 出願にあたっての注意

- 出願書類に不備があった場合は、出願が無効となる場合があります。
- 出願書類に虚偽の記載のあった場合、合格を取り消すことがあります。
- 受理した出願書類および検定料は本人の責任に抛らない場合も含め、理由の如何を問わず返還しません。

3. 個人情報の利用について

武蔵野美術大学大学院が入学試験実施にあたり取得した住所、氏名、その他の個人情報は、学校法人武蔵野美術大学個人情報保護基本方針に則り、入学試験業務、奨学金業務、授業料等に関する業務に利用します。また、個人が特定されないように集計し、各種統計資料を作成します。

4. 入学試験受験時の配慮について

障害等の理由により、受験の際に配慮を希望する場合は、出願に先立ち配慮希望内容の申請をお願いします。申請方法等：https://www.musabi.ac.jp/admission/other/exam_support/

また、出願後に不慮の事故等により配慮が必要となった場合には、なるべく早めにご連絡ください。

5. 募集人員

造形芸術専攻 6名（作品制作研究領域、環境形成研究領域、美術理論研究領域、3領域合計）

6. 事前面談

出願前に指導希望教員と面談し、出願書類の「志願者調査(本学所定の用紙)」に指導担当教員および指導担当教員が所属する研究室の主任教授の承諾署名を受けることが必要です。出願承諾がない場合は出願を受理しません。教員との連絡方法が不明な場合は2021年9月20日(月)までに入学センターへ申し出てください。

7. 出願資格

大学院博士後期課程入学資格(1)～(6)のいずれかに該当する者または2022年3月31日までに該当する見込で、2022年4月1日までに24歳に達する者が出願できます。

- (1) 修士の学位または専門職学位を有する者。
- (2) 外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者。
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者。
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者。
- (5) 文部科学大臣の指定した者。
- (6) 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達した者。

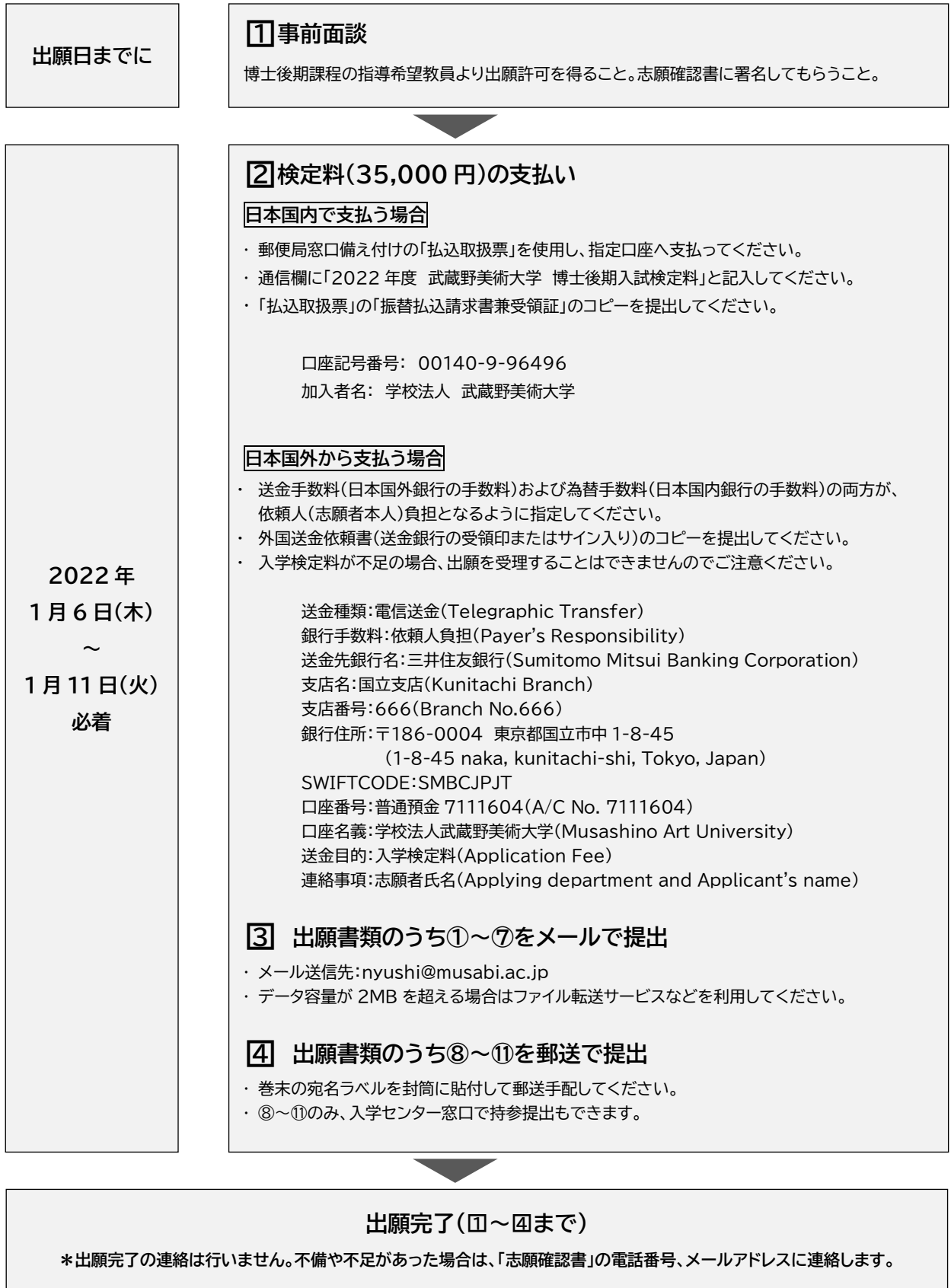
※ 出願資格(6)による志願者は、事前審査が必要です。2021年9月21日(火)までに書類を提出して審査を申し込んでください。
「個別入学資格審査」：<https://www.musabi.ac.jp/admission/other/exceptional/>

8. 外国籍(日本の永住資格保持者を除く)の志願者の出願条件

博士後期課程出願資格に該当していることに加えて、出願時に日本語能力レベルが次のいずれかであることが必要です。ただし日本国内の大学院を修了または2022年3月までに修了見込の者を除きます。

- 日本留学試験(EJU)の「日本語(読解・聴解・聴読解)」で280点以上を得点していること
2020年11月、2021年6月、2021年11月実施回を有効とする。
- 日本語能力試験(JLPT)でN1レベル以上に合格していること
2011年以降に実施したものを有効とする。ただし結果が出ていること。

9. 博士後期課程選抜の流れ

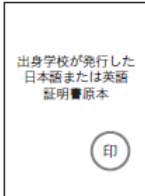
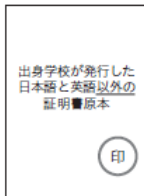







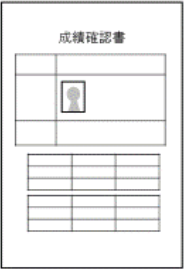

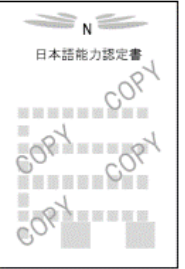
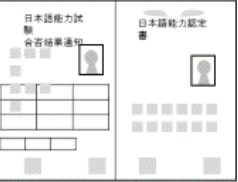
10. 出願書類

出願時にメール提出	<p>①入学志願書（巻末の様式を使用） (1)・(2)両方提出してください。 事前に指導希望教員と面談し、指導希望教員および指導教員が所属する研究室の主任教授の署名、出願承諾印が捺印されたものを提出してください。出願承諾印がない場合は受理しません。</p> <p>②研究計画書（巻末の様式 4 枚全てを使用） 欄内・枚数内に収まるよう、明瞭・簡潔に記述してください。</p> <p>③提出作品自己作成証明書（巻末の様式を使用） 提出する作品（ポートフォリオ収録作品、ポートフォリオそのもの、も含む）が、本人が作成したものであることを誓約し、指導教員からその証明を取得してください（家族や友人による証明は不可）。</p> <p>④制作のテーマおよび意図 提出する作品のテーマと意図を 2,000 字程度で解説してください。（作品すべての解説を合計して 2,000 字以内）。書式自由。</p> <p>⑤検定料払込を証明する書類 「振替払込請求書兼受領証」（郵便局の受付印入り）または「外国送金依頼書」（送金銀行の受領印入り）のコピー。</p> <p>⑥在留カードの両面のコピー（外国籍の方。日本の永住資格保持者含む） ＊裏面に記載がなくてもコピーを取ってください（記載がないことを確認します）。 ＊A4 サイズ用紙にコピーしてください。</p> <p>⑦日本語能力レベルを証明する書類（日本国内の大学院を修了または 2022 年 3 月までに修了見込者を除く） ＜表 2＞を参照の上、日本語能力試験（EJU）と日本語能力試験（JLPT）どちらかを選び、提出してください。</p>
出願時に郵送提出	<p>⑧修士課程の修了（見込）証明書（＜表 1＞を参照） ・外国の大学院の場合は、修了（見込）証明書に加えて、修士の学位取得（見込）証明書も提出してください。修了証明と学位取得証明が一枚にまとまっている場合は、一枚のみ提出してください。 ・日本国内の大学院を修了（見込）の場合には原則 3 か月以内発行の証明書を提出してください。</p> <p>⑨修士課程の成績証明書（＜表 1＞を参照） 日本国内の大学院を修了（見込）の場合には原則 3 か月以内発行の証明書を提出してください。</p> <p>⑩武蔵野美術大学大学院博士後期課程奨励奨学金奨励生採用願（巻末の様式を使用） 詳細は p.11 を参照してください。</p> <p>⑪修士制作・論文推薦書 修士制作・論文の指導教員、あるいは同研究領域の専門家による推薦書を提出してください。書式は自由ですが、巻末の書式を使用しても構いません。</p>

<表 1>

原本が日本語または英語の場合	原本が日本語または英語以外の言語の場合	
原本を提出	・大使館などの公的機関または日本語学校（現在日本国内の日本語学校に在籍中の場合のみ可能）で証明を行う場合 原本と大使館などの公的機関または日本語学校で証明した日本語または英語訳の原本の両方を提出	・中華人民共和国公証役場で証明を行う場合 公証役場が作成した「公证书」原本を提出
 <p>出身学校が発行した日本語または英語証明書原本</p> <p>原本</p>	 <p>出身学校が発行した日本語と英語以外の証明書原本</p> <p>原本</p>	 <p>公证书</p> <p>原本</p>

<表2>

日本留学試験(EJU)で出願する場合			日本語能力検定(JLPT)で出願する場合		
以下3回を対象とします 2020年11月、2021年6月、2021年11月			2011年以降に実施したものを有効とします ただし結果が出ていること		
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
 <p>日本留学試験 成績に関する証明書</p>	 <p>日本留学試験 成績通知書</p>	 <p>成績確認書</p>	 <p>日本語能力試験 認定結果及び成績に関する証明書</p>	 <p>日本語能力認定書</p>	 <p>日本語能力試験 合格結果通知書</p> <p>日本語能力認定書</p>
原本	COPY	EJUオンライン から印刷	原本	COPY	COPY

11. 試験日程および提出物

領域	日時		試験内容、提出物内容
作品制作研究領域	2月23日(水)	9:30~10:30	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">筆記試験</div> <p>「外国語(英語)」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 冊子辞書のみ使用可。電子辞書は不可 ・ 筆記用具(鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム)を持参すること
		11:00~13:00	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">筆記試験</div> <p>「小論文」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 辞書使用不可 ・ 筆記用具(鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム)を持参すること
		14:00~ (志願者数により変更 する場合があります)	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">作品提出</div> <p>「最近の制作作品」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 修士制作を含み3点以内とする。 ・ 提出時間、場所は受験票メール送付時に通知する。 ・ 原則として壁面へ立てかけまたは床置きして提出することとなる。特殊な設置方法が必要な場合は予め個人で用意すること。設置に時間がかかる場合や搬入搬出の手伝いは個人で用意すること。 <p>「ポートフォリオまたは論文のファイル」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ポートフォリオ <ul style="list-style-type: none"> ・ 提出時間、場所は受験票メール送付時に通知する。 ・ 日本語以外の場合は日本語解説を添付すること。 ○論文のファイル <ul style="list-style-type: none"> ・ 出願期限の1月11日(火)必着でデータ転送または出力したものを郵送して提出すること。該当する論文ファイルがない者は提出不要。 ・ 日本語以外の場合は日本語の翻訳をつけること。
	2月23日(水) または 2月24日(木)	個別に通知	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">口述試験</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2月23日または2月24日のいずれか1日。 ・ 志願者数により調整して実施するため、集合時間や所要時間などの詳細は受験票メール送付時に通知する。 ・ 筆記試験の欠席者は受験できない。 ・ 作品、ポートフォリオ、研究計画について冒頭で説明を求める。
	2月23日(水) または 2月24日(木)	口述試験終了後	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">作品搬出</div>

領域	日時		試験内容、提出物内容
環境形成研究領域	2月23日(水)	9:30~10:30	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">筆記試験</div> <p>「外国語(英語)」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 冊子辞書のみ使用可。電子辞書は不可 ・ 筆記用具(鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム)を持参すること
		11:00~13:00	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">筆記試験</div> <p>「小論文」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 辞書使用不可 ・ 筆記用具(鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム)を持参すること
		14:00~ (志願者数により変更 する場合があります)	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">作品提出</div> <p>「最近の制作作品または論文」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 修士制作・論文を含む。 ○最近の制作作品 <ul style="list-style-type: none"> ・ 提出時間、場所は受験票メール送付時に通知する。 ・ 原則として壁面へ立てかけまたは机の上に置く。 ○最近の論文 <ul style="list-style-type: none"> ・ 出願期限の1月11日(火)必着でデータ転送または出力したものを郵送して提出すること。修士論文を課されていないなど、該当しない者は提出不要。 ・ 日本語以外の場合は日本語の翻訳をつけること。 <p>「ポートフォリオまたは論文のファイル」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ポートフォリオ <ul style="list-style-type: none"> ・ 提出時間、場所は受験票メール送付時に通知する。 ・ 日本語以外の場合は日本語解説を添付すること。 ○論文のファイル <ul style="list-style-type: none"> ・ 出願期限の1月11日(火)必着でデータ転送または出力したものを郵送して提出すること。該当する論文ファイルがない者は提出不要。 ・ 日本語以外の場合は日本語の翻訳をつけること。
	2月23日(水) または 2月24日(木)	個別に通知	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">口述試験</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2月23日または2月24日のいずれか1日。 ・ 志願者数により調整して実施するため、集合時間や所要時間などの詳細は受験票メール送付時に通知する。 ・ 筆記試験の欠席者は受験できない。 ・ 作品、ポートフォリオ、研究計画について冒頭で説明を求める。このときプレゼンテーションのソフトウェアを利用してよい。試験室にプロジェクタとスクリーンを用意するので、ノートPCを持参すること。
	2月23日(水) または 2月24日(木)	口述試験終了後	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">作品搬出</div>

領域	日時		試験内容、提出物内容
美術理論研究領域	1月11日(火)必着 データ転送または 出力したものを郵送		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">事前提出</div> <p>「修士論文」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 別刷りまたはコピーを提出のこと(製本不可) ・ 修士課程修了後2年以上経過している場合は、その間の研究論文も併せて提出のこと <p>「これまでの研究経過をまとめたもの」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 修士論文の要旨を含み、日本語で6,000字程度。
		9:30~10:30	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">筆記試験</div> <p>「外国語(英語)」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 冊子辞書のみ使用可。電子辞書は不可 ・ 筆記用具(鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム)を持参すること
	2月23日(水)		美術理論研究領域では小論文試験を課さない
		13:00~ (志願者数により変更 する場合があります)	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">口述試験</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2月23日または2月24日のいずれか1日。 ・ 口述試験の冒頭で、修士論文について20分程度の発表を求める。プレゼンテーションのソフトウェアを利用してよい。試験室にプロジェクタとスクリーンを用意するので、ノートPCを持参すること。 ・ 志願者数により調整して実施するため、集合時間や所要時間などの詳細は受験票メール送付時に通知する。 ・ 筆記試験の欠席者は受験できない。
2月24日(木)	個別に通知	<p>*口述試験予備日</p> <p>2月23日で終了した場合は2月24日に試験を行わない</p>	

12. 受験上の注意

入構	<ul style="list-style-type: none"> ● 必ずマスクを着用し、開門時間以降試験開始の 30 分前までに入構してください。 ● 受験生以外は入構できません。
受験票	<ul style="list-style-type: none"> ● 受験票を印刷して持参してください。試験当日、受験票が無いと入構できません。紛失等で受験票を再発行する場合による試験時間の延長等はありません。
時計	<ul style="list-style-type: none"> ● 試験場には時計はありません。必要な場合は持参してください。使用する際はアラーム音等を必ず切ってください。 ● 携帯電話を時計代わりに使用することは禁止します。計算・辞書・通信・撮影等の機能がある時計や電子機器等の試験場内での使用は禁止します。
携帯電話	<ul style="list-style-type: none"> ● 試験場内での携帯電話の使用は一切禁止します。
試験中	<ul style="list-style-type: none"> ● 答案用紙の指定された氏名欄以外への本人の氏名、受験番号等の記載を禁じます。 ● カンニング等の不正行為があった場合、当該年度の試験はすべて失格とします。 ● 受験に際し、試験監督指示に従わなかった場合、または不適切な行為があった場合は、受験の停止を命じます。
昼食	<ul style="list-style-type: none"> ● 試験が午前・午後にわたる場合は、昼食を持参してください。構外に買いに出ることはできません。
解答	<ul style="list-style-type: none"> ● 試験の解答の所有権、著作権は本学に帰属し、解答用紙等の返却はいたしません。 ● 本学の入試資料として入学試験問題集や入学試験ガイド、本学 web サイト等に掲載、進学説明会等で展示することがあります。
感染症	<ul style="list-style-type: none"> ● 試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症(インフルエンザ、結核、はしか、新型コロナウイルス感染症等)に罹患している場合は、他の受験生や試験監督等への感染の恐れがあるため、受験をお断りします。なお、この場合であっても追試験等の特別措置は行いません。
新型コロナウイルス感染症対応	<ul style="list-style-type: none"> ● 新型コロナウイルス感染症に罹患し、試験日までに医師が治癒したと診断していない方や、試験日直前に保健所等から濃厚接触者に該当するとされた方、試験日当日に 37.5 度以上の熱がある場合は受験ができません。この場合であっても、追試験等の特別措置は行いません。発熱・咳等の症状のある場合は、あらかじめ医療機関で受診してください。症状の有無に関わらず、受験時は必ずマスクを持参し、構内では常に着用してください。 ● なるべく受験生本人のみで来校し、構内での他の受験者との接触、会話は控えてください。 ● 試験会場では換気のため窓の開放を行います。調節できる服装で受験してください。 ● 日頃から、手洗い・消毒・咳エチケットの徹底、密閉・密集・密接の回避などを行い、バランスのとれた食事、適度な運動、栄養、睡眠など、体調管理を心がけてください。

13. 在留資格「留学」の更新について

外国籍で日本に居住していない(在留資格を持っていない)方および入学までに在留期限が切れる方は、入学手続きとあわせて、在留資格の取得または在留期間の更新が必要です。

「留学」の在留資格申請のためには、まず代理人(武蔵野美術大学)が、日本国内の法務省出入国在留管理庁(入国管理局)に「在留資格認定証明書(COE)」の交付申請を行う必要があります。詳細については、合格者向け web サイトにて確認してください。

在留資格認定証明書の代理申請や在留期間更新・在留資格変更の申請に必要な資料の作成は、入学手続きの完了確認後です。希望する場合は、入学手続き締切日にかかわらず、合格確認後、速やかに入学手続きを完了してください。

詳細は国際チーム(留学生担当)(e-mail:ryugaku@musabi.ac.jp)へお問い合わせください。

※ 出入国在留管理庁より「在留資格認定証明書」または、「在留資格『留学』」が不交付となった場合は、入学取り消しとなる場合があります。

14. 武蔵野美術大学大学院博士後期課程奨励奨学金制度

大学院博士後期課程に在学する優秀で意欲のある学生を援助することを目的として、「武蔵野美術大学大学院博士後期課程奨励奨学金制度」を設けています。

○奨学金額

年間授業料の半額を贈与(後期分授業料の免除によって代替します)。

○受給期間

3 年間(休学期間中は奨励生となることはできません)

○出願および審査等

希望者は他の出願書類とあわせて「武蔵野美術大学大学院博士後期課程奨励奨学金奨励生採用願」を提出してください。人物および能力を審査して、入学の可否とあわせて通知します。

なお、奨励生に採用された方は、武蔵野美術大学奨学金をあわせて受給することはできません。

15. 学費

2022年度の学費は以下のとおりです。

武蔵野美術大学大学院修士課程の修了者

	前期分(入学手続時)	後期分(9月)	年間
入学金	免除	-	-
授業料	592,500円	592,500円	1,195,000円
維持費	16,200円	16,200円	32,400円
施設費	162,000円	162,000円	324,000円
合計	770,700円	770,700円	1,541,400円

- * 学部卒業大学、本学大学院修士課程の研究科は不問です。
- * 博士後期課程奨励奨学金制度の適用者は後期学費 592,500円が免除されます。
- * 本学では在籍学生を対象として学生教育研究災害傷害保険および学研災付帯賠償責任保険に一括加入しています。保険料として合計 3,620円(予定)を入学手続時に徴収します。
- * 本学入学・在籍にあたり「留学」の在留資格を取得・保有される方は別途、インバウンド留学生向け学研災付帯学生生活総合保険料 28,780円(予定)を入学手続時に徴収します。

武蔵野美術大学造形学部の卒業生

	前期分(入学手続時)	後期分(9月)	年間
入学金	75,000円	-	75,000円
授業料	592,500円	592,500円	1,195,000円
維持費	16,200円	16,200円	32,400円
施設費	162,000円	162,000円	324,000円
合計	845,700円	770,700円	1,616,400円

- * 造形学部卒業後、他の大学院修士課程修了者。造形学部には通信教育課程を含みます。
- * 博士後期課程奨励奨学金制度の適用者は後期学費 592,500円が免除されます。
- * 本学では在籍学生を対象として学生教育研究災害傷害保険および学研災付帯賠償責任保険に一括加入しています。保険料として合計 3,620円(予定)を入学手続時に徴収します。
- * 本学入学・在籍にあたり「留学」の在留資格を取得・保有される方は別途、インバウンド留学生向け学研災付帯学生生活総合保険料 28,780円(予定)を入学手続時に徴収します。

武蔵野美術大学および武蔵野美術大学大学院以外の出身者

	前期分(入学手続時)	後期分(9月)	年間
入学金	150,000円	-	150,000円
授業料	592,500円	592,500円	1,195,000円
維持費	16,200円	16,200円	32,400円
施設費	162,000円	162,000円	324,000円
合計	920,700円	770,700円	1,691,400円

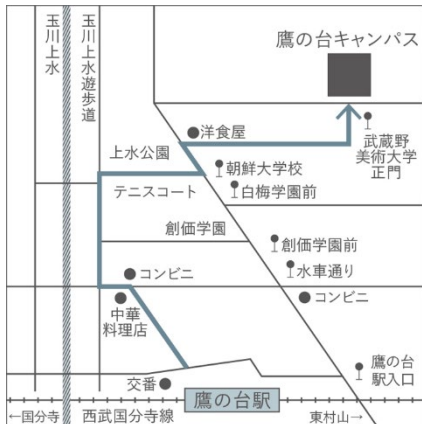
- * 博士後期課程奨励奨学金制度の適用者は後期学費 592,500円が免除されます。
- * 本学では在籍学生を対象として学生教育研究災害傷害保険および学研災付帯賠償責任保険に一括加入しています。保険料として合計 3,620円(予定)を入学手続時に徴収します。
- * 本学入学・在籍にあたり「留学」の在留資格を取得・保有される方は別途、インバウンド留学生向け学研災付帯学生生活総合保険料 28,780円(予定)を入学手続時に徴収します。

16. 武蔵野美術大学(鷹の台キャンパス)交通案内

西武国分寺線「鷹の台」駅より 徒歩約 20 分

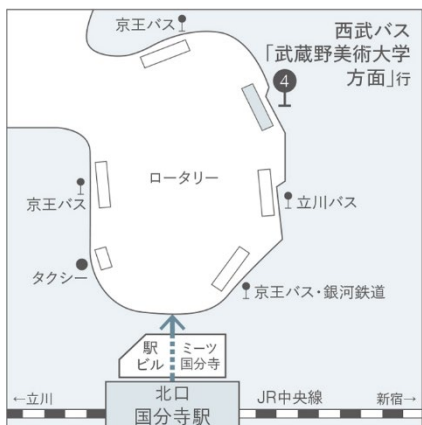
JR 中央線「国分寺」駅乗換、「東村山」行(2 駅目)

西武新宿線「東村山」駅乗換、「国分寺」行(2 駅目)



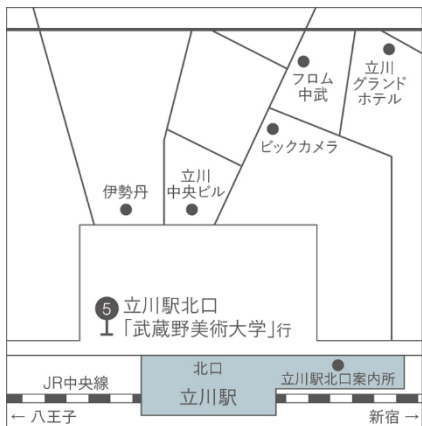
JR 中央線「国分寺」駅より バス約 25 分

「国分寺駅北口」4 番停留所より「武蔵野美術大学」行または「小平営業所」行



JR 中央線「立川」駅より バス約 25 分

「立川駅北口」5 番停留所より「武蔵野美術大学」行



①入学志願書(1)

* 大学記入 _____

志望研究科	研究科			<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>証明写真欄</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無帽 ・正面 ・背景無し ・縦4cm、横3cm </div>
志望研究領域 * 造形研究科のみ	研究領域			
氏名 * 外国籍の者はカタカナ				
氏名(フリガナ)				
氏名(英字) * 外国籍の者のみ				
国籍 * 外国籍の者のみ				
生年月日	年 月 日	性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性	
修士の学位または 専門職学位を 取得した大学院	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> 日本以外の大学院(所在国・地域: _____) 大学院の名称: _____ _____ 年 月 修了・修了見込			
本人現住所・連絡先	〒 _____ 携帯電話 (mobile) _____ E-mail: _____			
緊急連絡先 現住所が国外の者は 日本国内の連絡先を 記載すること	氏名 _____ 本人との関係 _____ 〒 _____ 携帯電話 (mobile) _____ E-mail: _____			
博士後期課程の研究課題 (なるべく簡潔に)				
希望指導教員による 出願承諾署名・印	氏名 _____ 印 _____ <small>印が難しい場合は署名のみ</small>	希望指導教員が所属する 研究室の主任教授による 出願承諾署名・印	氏名 _____ 印 _____ <small>印が難しい場合は署名のみ</small>	

②研究計画書(1/4)

氏名 *外国籍の者はカタカナ	
博士後期課程における研究テーマ	
修士課程までの研究経過	

②研究計画書(2/4)

氏名 *外国籍の者はカタカナ	
本学での研究を希望する理由	
指導を希望する教員、およびその教員に指導を希望する理由	
博士後期課程修了後の進路または計画	

②研究計画書(3/4)

氏名 *外国籍の者はカタカナ	
3年間の研究計画	

②研究計画書(4/4)

氏名 *外国籍の者はカタカナ	
博士後期課程における研究の内容および特色	

③

2022 年度 武蔵野美術大学・大学院入学試験
提出作品自己作成証明書

武蔵野美術大学
学長 長澤 忠徳 殿

<自己作成証明>

2022 年度武蔵野美術大学入学試験に際し、以下に記す提出作品・ポートフォリオおよびそこに含まれる作品は、すべて私(誓約者)が制作したものに相違ないことを誓約します。

なお、相違があった場合は合格取り消し等の処分に異議を申し立てません。

番号	作品種類	仕様・媒体・特記事項など	制作年月
			以上 点

年 月 日

志望研究科・専攻

誓約者氏名(自署)

印

<作成証明>

上記の作品等(ポートフォリオ含む)はすべて当該誓約者の作品等であることを証明します。

なお、誓約者とは親族・友人の間柄ではないことを誓約し、この書面に関して事実と相違があった場合には、証明者としての責を負うことに同意します。

年 月 日

所属(職位)

証明者氏名(指導教員等)

印

受験生との間柄

連絡先(e-mail または電話番号)

※証明内容について問い合わせることがあります。
※日本語または英語で記入してください。

③記入例

2022 年度 武蔵野美術大学・大学院入学試験
提出作品自己作成証明書

武蔵野美術大学
学長 長澤 忠徳 殿

<自己作成証明>

2022 年度武蔵野美術大学入学試験に際し、以下に記す提出作品・ポートフォリオおよびそこに含まれる作品は、すべて私(誓約者)が制作したものに相違ないことを誓約します。

なお、相違があった場合は合格取り消し等の処分に異議を申し立てません。

番号	作品種類	仕様・媒体・特記事項など	制作年月
1	ポートフォリオ	A3 サイズファイル 1冊	2022 年 1 月
2	修了制作	〇〇cm × 〇〇cm × 〇〇cm	2022 年 1 月
3	絵画作品	〇〇cm × 〇〇cm × 〇〇cm	2021 年 12 月
4	立体作品	〇〇cm × 〇〇cm × 〇〇cm	2021 年 12 月
! 募集要項をよく読み、指定されている提出物を記入すること			以上 4 点

2021年 1 月 10 日

志望研究科・専攻 造形研究科 造形芸術専攻

誓約者氏名(自署) ○○○○ ○○○○



捺印またはサイン

<作成証明>

上記の作品等(ポートフォリオ含む)はすべて当該誓約者の作品等であることを証明します。

なお、誓約者とは親族・友人の間柄ではないことを誓約し、この書面に関して事実と相違があった場合には、証明者としての責を負うことに同意します。

2021年 1 月 10 日

所属(職位) 武蔵野美術大学 教授

証明者氏名(指導教員等) ○○○○ ○○○○



捺印またはサイン

受験生との間柄 修士課程指導教員

連絡先(e-mail または電話番号) XXXXXXXX@XXX.XX.XX

※証明内容について問い合わせることがあります。
※日本語または英語で記入してください。

⑩

様式第 1 号

武蔵野美術大学大学院博士後期課程 奨励奨学金奨励生採用願

ふりがな	
氏名	印
生年月日	年 月 日生(満 歳) 男・女
現住所	〒 電話番号:

武蔵野美術大学
学長 殿

武蔵野美術大学大学院博士後期課程奨励奨学金規則により
奨励生として採用していただきたくお願いいたします。

記入日 年 月 日

本人氏名 印

保証人氏名 印

本人との続柄

保証人生年月日 年 月 日

保証人現住所

保証人電話番号

保証人 E-mail

⑪造形研究科推薦書様式

推 薦 書

武蔵野美術大学大学院 造形研究科 博士後期課程 造形芸術専攻

入学志願者 _____ を下記のとおり推薦します。

年 月 日

推薦者 所属・職名 _____

氏名 _____

入学志願者の研究適正、研究業績、修士論文等の研究内容等について記述してください。

* 修士制作・修士論文推薦者は、修士課程指導担当教員または同研究領域の専門家。

* 推薦書は封緘のうえ志願者本人へ渡すか、入学センターへ期限内に直接ご提出ください。

郵送提出 〒187-8505 東京都小平市小川町 1-736
武蔵野美術大学入学センター 大学院博士後期課程志願書受付係
電話: 042-342-6995

メール提出 nyushi@musabi.ac.jp
武蔵野美術大学入学センター 大学院博士後期課程志願書受付係

郵便切手

速達

1

8

7

8

5

0

5

速達・簡易書留【出願書類在中】

東京都小平市小川町1丁目736番地

武蔵野美術大学

入学センター

大学院博士後期課程選抜受付係

二つ折り厳禁

大学院博士後期課程選抜 出願期間 2022年1月6日~1月11日(必着)

住所

氏名

電話番号